

働きたいと働いてもらいたい

中津市長 奥塚 正典

有効求人倍率という指標があります。ハローワークで仕事を探している人の数と働き口の数と比較するものです。中津管内の7月現在の率は1.52です。このことは100人が仕事を求めているとすると、152の働き口があることを意味します。この指標が中津では2年以上続けて1を超えており、一般的に経済に活気があると説明されます。

「えっ本当？ ハローワークに行っても仕事がないのに」と思われるかもしれません。これは、働き口はあるのに希望する職種がない状態で「雇用のミスマッチ」と言われますが、現在、特に人手が足りない職種は、建設業の従事者、運輸業のドライバー、保育士、看護師、介護士などです。技能や資格を必要とする仕事は、人が不足すると十分なサービスが提供できず支障が出ます。飲食店もお客さんはいるのに働き手が見つからず営業時間を短縮したという声も聞き、人探しは深刻化しています。

市内には、資格を持っていても、いろいろな事情で現在は働いていない人がいます。その中にも勤務時間など条件が整えば働きたい人、今は無理だけど将来は働きたいと考えている人もいます。

そこで中津市は、これらの不足職種の資格等を持っている方々と人材を求める企業の「人材バンク」を商工会議所内に開設し、あらかじめ登録いただくことにしました。バンクでは登録者の相談にのり情報提供を行うとともに、働くにあたって円滑に就職できるようお世

話し最終的にハローワークにつながります。「働きたい」と「働いてもらいたい」の双方をよりソフトに仲立ちします。

どうぞ、有資格者でフルタイムでもパートタイムでも働くことに興味のある方、お立ち寄りいただき登録をお願いします。お気軽にご相談を。

